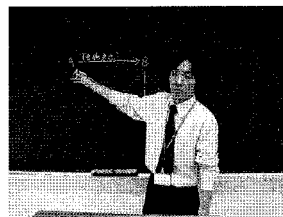


一般知識等



京都校 山崎正博

一般知識等は、合格基準である6問クリアを合理的に成し遂げるため、どのような対策をとるかが合否を分ける重要なポイントである。ただ、今年度は非常に易しい問題の連続で、拍子抜けした受験生も多くいたのではないだろうか。易しい年の翌年は一転して難化するのが資格試験の常である。だからといって必要以上に恐れる必要はない。定石どおりの対策をすれば十分である。以下、科目ごとの具体的な対策案を示す。

一、政治・経済・社会

単に過去問を繰り返しただけでは対応しづらいが、2〜3問はとりたい。

時事の対策としては、使用教材の目次にあがっている項目に関連する記事のみに限定して目を通しておくのがベターであろう。過去問とその周辺知識を固めることに専念するのがよい。試験傾向をふ

まえ毎年教材の見直しをなされ、しっかりと出題予想のなされた教材を使用することが肝要である。試験直前の模擬試験等も情報収集手段としては極めて有用である。積極的に受験してほしい。

二、情報通信・個人情報保護

個人情報保護については満点をとりたい。頻出分野は限られているため、過去問の繰り返しによって確実な知識を身につけたい。

情報通信については雑学的要素が問われることもあるが（09年度問題57など）、政治・経済・社会に比べまだ点数は取り易い。過去問の繰り返しと、その傾向をしっかりと考慮した良質教材の使用で周辺知識を身につけていこう。IT用語の意味など、時事ネタが直接問われることもあるので、教材を使ってしっかりと摂取していこう。

三、文章理解

これは満点をとりたい。ただ、一朝一夕では実力はつかないことは自明。基本講義が終了する7月以降は、毎日1問でもいいから必ず触れるようにするのが実力向上のための秘訣である。行政書士試験の過去問だけでなく、公務員試験の文章理解の市販過去問集も参考になるだろう（難易度、傾向共に酷似）。

実務家に

覗いてみよう!!

行政書士事務所 現場最前線

行政書士を開業して7年目になります。主要業務は、相続・遺言書関連、離婚関連、契約書などの権利義務事実証明に関する書類作成、内容証明郵便などの民事法務、土地関連業務、医療関連許認可業務です。FPとしても活動しています。

0歳と5歳の子供の育児などの家事と仕事との両立は思ったより大変ですが、自分の努力の成果を肌で感じることができる行政書士の仕事は、育児をする上でも張り合いになっています。また自分で仕事の調整ができるので、子供が病気の時などにすぐ対応できることがメリットとして挙げられます。

私の事務所は、大阪府守口市にあります。大阪府という土地柄、行政書士として相談を受けて、依頼者にアドバイスすることだけでなく、世間話なども交え、さらに話に「オチをつける」ようにしています（笑）。関西の人はとにかくよくしゃべるので、相談する行政書士が「話をじっくり聞いてくれて信頼できる人かどうか。」をよく見ているようです。「聞き上手」であることが、リピーターの増加には重要であると感じています。それから私も含め阪神タイガースのファンが多く、阪神以外のファンだと盛り上がりがないなあと思うくらい阪神ネタが多いです。

成功談として、相続人の一人から私が遺産分割協議に関する書類作成業務を受任したのですが、別の相続人が弁護士を代理人に立てて争ってきたことがありました。

結局私の依頼人の希望通りの遺産分割協議が整いましたが、私が作成した書類が重要な役割を果たしたようで、依頼者に感謝の言葉をいただき大変嬉しかったことを覚えています。

この仕事は専門職です。相談者・依頼者は、われわれ行政書士を「専門家」として信頼し、苦境時には薬をも掴む思いで頼りにしていらっやいます。依頼者から報酬をいただいた上に感謝されるというところに、自分の努力の成果を肌で感じることができる専門職の醍醐味があります。

最後となりますが、私よりこれから本試験にチャレンジされる皆さんにメッセージがあります。お役に立てれば幸いです。

「試験と実務とは違う。」とよく言われています。しかし試験科目である民法や会社法の知識は、実務では必須です。一般知識科目も、幅広い業務をいろんな視点で考察しなければならない行政書士業務のためには、全く役に立たないということはありません。合格のための勉強ではなく、皆さんが実際に行政書士として実務に従事したときの姿を想像して勉強されたらモチベーショ



ひまわり法務FP事務所
行政書士 中野 庸起子

ンも上がるのではないのでしょうか。判例も、実務において必要な知識です。皆さん！ 今年の本試験合格を日指して試験勉強頑張ってください。

行政書士 Spirit

2010年2月号

発行：大原学園 行政書士講座

Contents

特集 2009年度本試験総評①

シリーズ 実務家に聴いてみよう！！
行政書士事務所 現場最前線

シリーズ 関西風味
関西圏講師紹介&メッセージ

結果発表の余韻

去る1月25日(月)。2009年度行政書士試験の合格発表が行われました。合格率等試験結果の詳しい内容は、大原のHPでも公表されていますので、そちらをご覧ください。

本誌の読者には、昨年度の試験を受験された方も、たくさんいらっしゃるでしょう。そんな方に、ひとつ質問。

「試験が終わってから、何をやっていましたか？」

勉強してなきやダメですよ！とか、そんな話をしたいわけではありません。私はそんなえらい人ではありませんから。

ダラダラしていたというのなら、今すぐ改善してください。試験まで、あと9か月しかありません。時間は無限にあるわけではありません。10月頃から今年の試験に向けて勉強を始めた方もいます。つまり、半年分差をつけられているのです。

もしかしたら、久しぶりに勉強を再開して「あんなに一生懸命やったのに、全然覚えてない！どうして？」という思いになることもあるでしょう。

けど、人間そんなものです。人間は、忘れる生き物です。忘れなければ、人間は生きていくことができません。半年前タンスのかどにぶつけた足の小指の痛み。今でもハッキリと覚えていますか？そういうことです(ぶつけてないよ！はナシ)。

試験勉強は、本当にたいへんです。私はよく「砂を噛むような作業」と言います。

けど、何かを手に入れるためには、何かをやり遂げなければなりません。あなたが受験を決意したのは、あなたが理想とする未来にとって、行政書士という資格が、どうしても必要な素材だったからですよ？

だとすれば、今やっている受験勉強は、まさにサクセスロードではないでしょうか。辛くても苦しくても、理想の自分へたどり着くため……。そう考えれば、私たちが抱える悩みや苦しみが、ほんの少しいだけ、ほんのわずかですが軽くなる気がします。

ちなみに、ですが。私の場合、どうしても辛いときは、合格体験記のネタになるからいいじゃない！と思いついていました。

こんな話をしていくつもりですので、皆さん、どうぞお付き合いください。(Y.H)

